

鐘紡山科工場	八三三	解雇	一	手当二三〇圓	交渉
高畑昭和絹糸	八二九	解雇	三	解雇手当獲得	交渉
保野色染	八二八	解雇	一	解雇取消	交渉
坂友仙工場	八七三	賃下反灯	三〇	妥懐	紛議
日本絹織物工場	八七九	解雇	二	手当一三〇圓	交渉
志紡績	八八七	解雇	四	手当獲得	交渉
山科鐘紡工場	八八七	解雇	一	手当獲得	交渉
井友仙工場	八九九	解雇	一	手当獲得	紛議
坂友仙工場	八九九	臨時休業	二四	臨時手当獲得	交渉
京都金屋労働組合	八九九	賃下反灯	四〇	団体協約を結ぶ旨	紛議
大谷金庫	八三三	賃下反灯	四〇	団体協約を結ぶ旨	紛議
増本鉄工所	八四三	解雇	一	解雇手当獲得	交渉
松本製作所	八四三	待遇改善	三二	要求徹底	交渉
松本製作所	八四三	傷害手当	一	手当一〇圓	交渉

政治部報

政治部は純同盟本部の方針に従ひ組合中一主義の立場より一切の行動に始終は社大京村取の支持団体であつた全同盟労働組合同盟本部聯合會の京都染織労働組合を中心とする一派は昭和七年十二月の同盟聯合大會に於て共同参加を明瞭にせしめわれ政治部は二個の対立關係にある団体と共に積極的の支持せんとする意節がある二重人格主義自身は總的心理を指摘しインキを左翼主義を巧にカムフラージュし大衆を偽購せんとする事の如何にカロリタリや道徳に反する事の大なるかを責め既而何れかに態度を決すべき事を感じしがたゞく、労働改良に際して遂に吾等を表し党内を攪乱せんとせしむ成り本自の基盤を揺つて敗北的連却を企及せしめり水た以て全京村取(全同盟労働組合)の必死の奮闘取極限に著しい策動に對して政治部聯合會を二回開催し第一派が水たを統制と正しき認識の下に立つて行動し党内の平和と発展の爲めに闘つた。

市選戦に對しては政治部長濱辺清君を党公認候補と推定し中京区より之候補せしめ全組合員の熱烈なる應援と勝利あり不幸三八二票に於て重ぬく落選す。